

Contents

安全で円滑な バス交通を支える路面標示

- ・展示会ご来場の御礼「防災産業展2026」
- ・冬期におけるシート製品 施工上の注意点
- ・クイックシート 溶融タイプ 受取り後のお願い



最新シート施工例情報、業界情報、当社製品情報などをお知らせしている「サンコーメールマガジン」や「サンコーニュース」など、メール配信版もご希望される方は、左のQRコードよりご登録ができます。

安全で円滑なバス交通を支



羽田空港 W9500×H900mm【D-TWN-463D1】
成田空港 W9500×H900mm【D-TWN-463D2】

リムジンバス待機列

空港へ向かう旅行者の待機場所を路面で明確化することで、整然とした列形成を促し、荷物の積み込みと乗車をスムーズに行えます。乗車口付近の混雑を緩和し、出発遅延の防止にもつながります。さらに、英語表記を併記することで、訪日外国人観光客にも直感的に分かりやすく、安心して利用できる乗車環境を整えます。



路線バス待機列

複数の路線バスが発着する駅前では、乗り場の混雑が起こりやすくなります。路線ごとの待機位置と乗車口を路面で明確に示すことで、利用者を目的のバスへ確実に誘導し、通勤・通学で混雑する時間帯でも動線を整えて安全でスムーズな乗降と定時運行を支えます。



誘導案内 W320×H1600mm・W320×H1400mm他【DM-2297D5・DM-2297D3 他】



バス乗場 誘導案内
W420×H600mm【D-HS-298】



バスのりば 誘導案内
W900×H600mm【PGY251】

バス乗り場への誘導

目的のバス乗り場へスムーズに誘導し、利用者の迷いや立ち止まりを減らすことで、安心して移動できる歩行環境づくりにつなげます。路面標示なら、駅前や繁華街など人通りの多い場所でも、通行を妨げることなく案内を設置することができます。

える路面標示

時間帯限定バス専用レーン

通勤・通学で利用者の多い時間帯に「バス専用」となる区間を、大型文字で明確に標示します。「7～8:30」の時間帯を強調することで、通行する一般車両に注意を促し、誤進入を抑制して交通事故防止とバスの定時運行に貢献します。



文字 W1000×H2000mm
数字 W700×H1500mm他



バス注意 W600×H600mm【D-C-196】



バス停注意 W750×H750mm【D-C-3452】

自転車通行帯の注意喚起

自転車交通ルール改正により、車道走行の徹底など自転車の通行環境が変化し、バスとの交錯機会が増えることが懸念されています。特にバス停周辺では、発進・停車時の接触リスクが高まります。

「バス注意」「バス停注意」の路面標示は、自転車利用者に減速と進路確認を促して、交通事故を防止する予防型の安全対策です。



バス優先駐車場

近年、サービスエリアでは駐車場不足が課題となり、特に大型トラックや観光バスの駐車スペース不足が深刻化しています。

限られた区画の中で円滑な運用を図るには、利用するドライバー全員の理解と協力が不可欠です。バス優先駐車場標示を明確に示すことで誤進入や無断駐車を抑制し、バスが停車できる環境を整え、安定した運行と安全確保に貢献します。



文字 W1000×H1500mm



自動運転バス走行レーン

今後、全国で導入が進むと見込まれる自動運転バスは、一般車と同じ道路空間を共有して走行します。現在の自動運転バスは、一般車と比較して低速で走行するため、安全な運行には一般車両の理解と協力が不可欠です。

自動運転バス走行レーン標示は、その存在を明確に示し、注意喚起と円滑な共存を促すものであり、新しい交通主体への理解を広げ、安全な道路環境づくりを支えます。



マーク W1200×H3600mm 【D-C-384】
文字 W1200×H3600mm



バス停 W2200×H4800mm 【D-C-349】

バス停(自動運転バス)

車体が小さい自動運転バスは、駐車場の一部を停留所に活用可能です。路面標示でバス停を明確化し、一般車の無断駐車を防ぎ、円滑な運行を支えます。

バス停(コミュニティバス・オンデマンドバス)

コミュニティバスやオンデマンドバスは、地域住民の生活に寄り添うため、きめ細かなバス停の設置が求められますが、従来の大掛かりなバス停は設置スペースやコストに課題があります。路面標示による簡易的なバス停なら、限られた空間にも柔軟に対応でき、地域の実情に合わせたバス停の整備を実現します。



バス停 W1200×H800mm 【D-TWN-419D8】



バス停 W1200×H1000mm 【D-TWN-420】



ニーズに応じて多様化するバス交通

現代の日本では、通勤・通学を支える路線バスから、空港を結ぶリムジンバス、観光地を巡る観光バス、地域密着型のコミュニティーバス、予約制のオンデマンドバス、さらには実証が進む自動運転バスまで、多様な形態のバスがそれぞれの役割を担っています。都市部の大量輸送から過疎地の生活支援まで、バスは地域特性や社会課題に応じて進化し続け、日本の移動インフラを柔軟に支えています。

路線バス



地域の生活交通を担う基本的な公共交通の1つです。駅と住宅地・商業施設・病院などを結び、通勤・通学や買い物を支えています。停留所を細かく配置して高齢者や学生の移動を支援するなど、日常の足として全国で重要な役割を果たしています。

リムジンバス



主に空港と主要駅・都市部を結ぶ直行型バスです。大きな荷物に対応し、乗り換え不要で目的地へアクセスできる利便性が強みで、訪日外国人や出張利用者の増加により、都市と空の玄関口を結ぶ快適な移動手段として存在感を高めています。

観光バス



団体旅行やツアー向けに貸切で運行されるバスです。観光地間を効率よく巡り、ガイド付きで地域の魅力を伝える役割も担っています。インバウンド需要の高まりから、地方観光の活性化や地域経済への波及効果を支える重要な移動インフラとなっています。

コミュニティーバス



自治体が主体となり、交通空白地帯や高齢化地域をカバーする小型バスです。低運賃で公共施設・病院・商店などを結び、住民の生活維持を支えています。採算性よりも福祉的側面を重視し、地域の移動格差を緩和する役割を担っています。

オンデマンドバス



利用者の予約に応じて柔軟にルートや時間を設定する新しい公共交通です。AI 配車システムの活用で効率的な運行が可能となり、路線バス利用者の減少地域で、コストと利便性を両立します。過疎地や郊外での持続可能な交通手段として注目されています。

自動運転バス



運転士不足への対策として実証・導入が進んでいる次世代型バスです。センサーやAIで走行を制御し、特定エリアや専用レーンでの運行されます。安全性向上と人手不足解消を目指し、将来の地域公共交通の中核技術として期待されています。

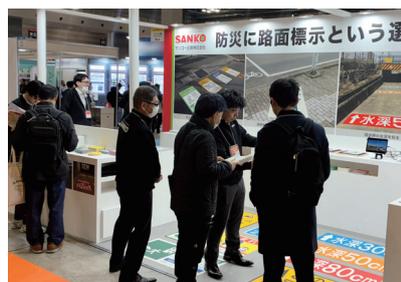
展示会ご来場の御礼「防災産業展 2026」

1月28日(水)～30日(木)に東京ビッグサイトにて開催されました「防災産業展2026」におきまして、当社ブースにお立ち寄り頂き、誠にありがとうございました。

おかげさまで盛況のうちに無事、展示会を終えることができました。

製品・サービスに関するご質問等がございましたら、

担当営業より改めてご説明させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。



冬期におけるシート製品 施工上の注意点

- ◆設置路面に凍結防止剤等が残留している場合、必ず除去を行ってください。
- ◆設置路面温度が低い場合、設置路面を加熱することで、シートの接着強度が高くなります。



クイックシート 溶融タイプ 受取り後のお願い

クイックシート溶融タイプの受取り後、すぐに梱包ダンボールを開封して、シートの状態の確認をお願いします。

[発行]

サンコー企画株式会社

〒929-0447 石川県河北郡津幡町字旭山11番地2

Tel:076-289-6708 Fax:076-289-7992

E-mail:sanko@sanko-kikaku.com

URL:http://www.sanko-kikaku.com

ご注文・お問い合わせ